

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	木屋瀬小学校 第4学年～第6学年 7クラス
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習、体育) ② 行事名 (講演会)
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック・パラリンピック 2020 に向けて、新聞記者から直接の報道の在り方を聞き、オリンピックの種目について興味・関心を高める。 ・ 実際に、器械運動（跳び箱運動など）を通して、スポーツの楽しさを実感させる。 ・ オリンピック・パラリンピック 2020 に出場する選手たちを応援しようとする心情を育てる。
5 取組内容	<p>1. 事前学習</p> <p>○ 各クラスにおいて、パラリンピック教育教材を使用して学習した。パネルなどを見ながら、パラリンピックの歴史や競技を紹介したり、パラリンピックの価値を伝えたりすることで、各競技種目に興味をもった。子どもたちにとって昨年度の取り組み「車椅子テニスの選手の方の話の聞いたり、車椅子に乗ってのテニスを体験したりした体験が生かされている。</p> <p>2. 講演会</p> <p>西日本新聞社の運動部の記者一手島 基（てしま もとし）様の話を聞いた。演台は、「新聞記者からのスポーツを好きになる、楽しむ様々な運動の楽しみ方を知ろう」であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まず、全員に新聞を1部ずつ配られた。普段、ほとんど新聞を開いて読むことがない児童が多いことに驚いた。 <p>【講演内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020 年のオリンピック・パラリンピックは、みんなにとって、とても貴重な機会・経験となって財産になる。だから、オリンピック・パラリンピックについての理解を深め、自分に



できることは何かを考えていくことが重要である。



・ 新聞記者になろうと思ったきっかけが、「各種目の選手は本番に向けて、どのような努力をしているのか」を、知りたかったからである。特に、マラソン選手は、1km3分のペースでなぜ走ることができるのか。時速20km（自転車を目一杯こぐくらいの速さ）で42kmを走りきるために、どのような練習をしているのか。

・ 6時スタートになったとき、午前2、3時に食べ終わる必要寝ないで走ることになる。このようなことを知った上で見ると面白い。

・ みんながスポーツに関心をもって、やりたい人になってほしい。みんなが日本で見られるのが、東京大会が最後である。体を動かす楽しさ、大人になってもスポーツをしてもらいたい。このことが、日本人の健康寿命を伸ばすことにつながる。



・ 身近な選手がいるとその競技に親しみ・関心がわく。

〈体操—内村 航平〉・・・北九州市生まれ

遊びながら、体を鍛えた。手の先、指のきれい、指もつく。人形を使って形を考えていた。

〈ソフトボール—上野選手〉・・・福岡出身

小さい頃、下手投げのソフトボールの変化球が難しかった。腿に当てることを工夫した。

（願い）最初の夢・目標をもってほしい。現実にもものにするために、クリアしなければいけないことを考える。毎日すること、それが習慣になる。1日休むと取り戻すのに3日かかる。勉強も同じである。知って大人になると、知らないで大人になるとでは大きな違いがある。

3. 跳び箱運動（跳び箱運動やマット運動）をする。

・ 各学年の体育の学習において、器械運動（跳び箱運動やマット運動）に取り組んだ。その際、「内村航平選手のように、着地をビシッと決めよう。手の指先まできれいに。」と、教師は声を掛けながら練習させ



ている場面があった。児童は、着地も意識させながら、お互いに声をかけながら練習をした。



<p>6 主な成果</p>	<p>〈知ることを通して〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な選手（内村航平選手や上野選手）がいることが分かり、驚いていた。その選手の小さい頃の様子を知ること、体操やソフトボールの種目に興味を抱き、2020年に開かれる東京オリンピックに関心を強くもたせることができた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>同じ空気を吸っていることだと思うととても嬉しい気持ちになりました。新聞にはたくさんの情報があり、普段よく見ない新聞を手にして読むと、世の中の情報がよく分かり、読むことの大切さを学びました。（6年 女子）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「メダル30個」ということを聞いて、メダルについて詳しく調べたくなった児童も多かった。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に続いての「オリンピック・パラリンピックの取組」であるため、比較的取り組みやすかった。 事前指導では、講演内容と直接関連づけることはできなかったが、パネルやDVD映像を使用することで児童の理解が深まった。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講演内容を事前に講師の方と詳細に打ち合わせする必要があった。事前の指導、事後の活動に関わってくるので、一連の「オリンピック・パラリンピック教育」の取り組みに見通しがなかなかもてなかった。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピックの出場選手と交流する機会をもたせたい。